

増築で8年前に新設した2枚建サッシ
材料は国産ヒノキ板目
日灼けした窓縁はベイマツ



本誌記者も驚愕！

8年経過した木製建具サッシ ヒノキが新品同様の美しさ



守谷和夫氏(守谷建具代表)

埼玉県東部で8年前に増築部の窓に設置した木製サッシが、良好な保存状態で残されているという話を聞きつけて取材班は現場に向かった。

降りしきる雨の中、訪問したのは、昭和4年に築造された母屋を持つ家。築85年になる旧家では、独特のゆがみをもつガラスが新緑鮮やかな庭の景色を映し出している。今では珍しい青銅製の戸袋に思わず目がいく。伝統ある母屋を大切にされているご主人は、少しずつ行ってきた増築の外まわりでも、木製建具の質感にこだわり、増築部の全面に木製サッシを使った。

この木製サッシを見て驚きの声をもたすプロがいた。木製サッシ製造業者の守谷和夫氏(守谷建具代表 62歳)である。

「ヒノキでも10年も経つと南側の日にやけるところは変色するんだよ。ま



「さか新品同然だとは思わなかったよ」
その品質の最大の秘訣は塗料にある
という。水性ウレタンで紫外線カット
機能のついた塗料を塗装したところ、

8年たっても新品同様。通常の塗料だ
と南側の窓枠は10年近く経つと陽にや
けてくるが、紫外線の防止効果が利い
ていた。



昭和4年に建てられた旧宅。木製建具と青銅製の戸袋に注目。8年前に増築し木製サッシを採用

材質は板目のヒノキ。1500×
2700mmの2枚立て。重さは約45
キ。一枚が1500×900mmで複層
ガラスが入っている。軒のひさは80



センチ出ていて雨よけをしている。
北側も同様。下木の埋め節は、ホッ
トメルトにベンガラを混ぜて埋めて
いる。サッシ枠はサッシメーカーの



アルミ枠をつけており、現地の建具屋
が取り付けを行った。窓枠の棧や玄関
ドアはベイマツで黒く日やけしていた
が、木製サッシの枠だけは紫外線防止
機能のある塗料のおかげで陽にあたっ
ても新品同然だった。

「うちでやったのは木製サッシだけ
だけど、どうせなら玄関もうちでやっ
て同じ塗料を塗れば良かったよ」

この紫外線防止機能のついた塗料
は、リッターで言うと普通の塗料の2
倍の価格となる。業者目線では材料費



アルミ枠を使って木製サッシを設置

木製玄関との変色の差は一目瞭然だ

をできるだけ抑えるのが常であるが、
お施主さんにとって材料費数千円の塗
料でどっちがいいと聞かれたら日にや
けない方を選ぶだろう。通常、建具の
製造業者が、10年近く経った建具の状
態を見にことはまれで、今回は複層ガ

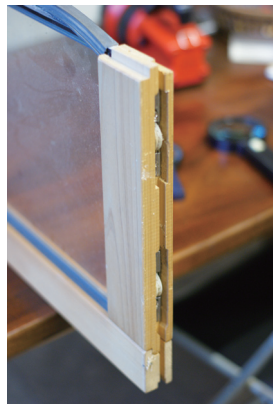
ラスのガスが抜けて白くもったと
いう連絡を受けて修理点検のために
ガラスを持って訪問したところ、8
年後の状態が実際に検証できたの
で、今後はこの塗料を積極的に採用
していきたいという。特に南面は紫
外線の影響が大きいので、窓だけで
はなく、玄関まわり全体で使うよう
に設計士や施主向けに提案していき
たいと守谷氏は語る。

一般的にアルミサッシの数倍の価
格と言われる木製サッシであるが、
安価に製造できる秘訣は柾目ではな
く、板目を用いているためである。
3年近く自然乾燥させた松の木裏を
窓の外側に向けている。サッシは窓
ガラスが割れた時などの修理のため
に、ビス一本でいつでも柾と棧を外
せるようにしている。ビス止めには、
3mmの長いキリをつかって角ノミで
穴をあけている。素材が板目なので、
通常の錐やドリルではどうしても木
目にあたって穴がまがってしまう。
そのため木工用ではなくて、鉄工用
のドリルの形状にして、半年間研磨
して型をつくって板目専用のドリル
の形状（特許）にした。

また、塗料を効果的に塗るための
工夫として、サッシの下棧のほぞが
框に入るところは、1分5厘の面を

木製サッシの作り方

- ① 国産ヒノキの板目材を3年間養生する
- ② 板目を削って寸法を整える
- ③ 框と下棧を加工する
- ④ 框にビス用の穴、下棧に水ぬきの穴をあける
- ⑤ 仮組みした建具に塗装する
- ⑥ パッキンをつけた複層ガラスをはめこむ
- ⑦ 戸車、把手、カギをとりつけて完成
- ⑧ 現場でアルミ枠をはめ込み木製サッシを建てつける



とっている。面をとることで小口にまで塗料をしみこませることが容易になる。

一般的な木製建具のサッシで劣化が置ける原因の一つに、框の下部に負担をかけすぎることがある。多くの木製建具のサッシは框の下で下棧を支えて戸車もつけてと、框の下部にかなり負担をかけている。ここに窓の溝から垂れてきた結露や雨だれの水がしみこんでいき、ついに木部が腐食して穴があいてバラバラになる。そのため木製サッシの引戸は弱く、傷みやすいと言われてきた。

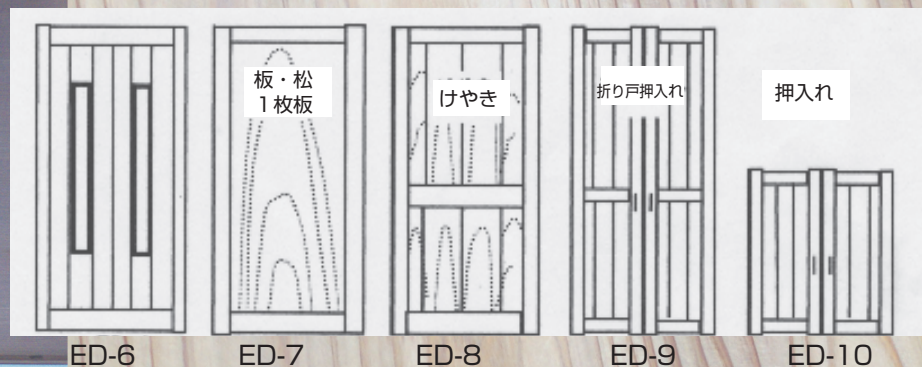
この構造的な弱点を補強するため、框の下部に水抜きをつけて、下棧を框に通し、ほぞの先にも少し隙間をつけて雨だれを通して水切りをつけている。このように戸車を框の下ではなく、見付け90mmの下棧の下につけることで耐久性を高めている。

先月大阪から依頼を受けて、自宅兼モデルハウスの窓に製作したところ、1棟あたり約80万円位ほどだった。近年はインターネットで見つけ依頼してくるケースが多い。取り付けは地元の建具業者に委託するケースが多いという。

木製ドアー価格一覧表



設計価格	67,500	72,500	77,500	76,300	88,700
出荷価格	24,500	26,000	28,000	27,500	31,500



設計価格	92,500	160,000~	110,000~	51,000×2	30,000×2
出荷価格	32,500	59,000	40,000	19,000×2	11,000×2

NC工房 守谷建具

(有)守谷建具 〒359-1164 埼玉県所沢市三ヶ島3-783
電話 04-2948-2336 FAX 04-2947-2857

国産松・木製サッシガラス本体価格一覧表

呼称高	内法基準 h		2 枚建			4 枚建	
		呼称幅	074	119	165	256	347
		内法基準 w	740	1195	1650	2560	3470
			3 尺	4.5 尺	6 尺	9 尺 4 枚	12 尺 4 枚
03	300	本体	30,000		38,000		
05	500	本体	32,000		43,000		
07	700	本体	33,500		46,000		
09	900	本体	35,000	45,000	49,000	90,000	98,000
11	1100	本体			55,000	101,000	110,000
13	1300	本体			58,000	103,000	116,000
15	1500	本体			67,000	121,000	134,000
18	1800	本体			86,000	160,000	172,000
20	2000	本体			93,000	168,000	186,000

○全て寸法特注対応品です。 ○2ヶ月以前予約の基準価格です。 ○材質は杉。枠では8000~12000円高、浮造りパネル仕様は3000~5000円高。
○お支払いは商品と引き換えでお願いしています。 ○デザインは変更できます。 ○木材の価格変動の際には価格調整させていただきます。